

<34>PEM 単独療法

<対象疾患> 非小細胞肺癌

<治療レジメン詳細>

	薬剤名	投与量	投与方法 (点滴時間)	投与スケジュール(日) -7.....1.....21
①	生理食塩液 デキサメタゾン注 6.6mg	100mL 1V	点滴静注 30分	↑
②	生理食塩液 ペメトレキセド	100mL 500mg/m ²	点滴静注 10分	↑
③	生理食塩液	50mL	全開 フラッシュ用	↑
④	葉酸	0.5 mg/日	経口投与 1日1回	↑... (連日服用)
⑤	ビタミンB ₁₂	1 mg/回	筋肉注射 1日1回 9週毎	↑ (9週毎に投与)

<投与期間> 3週(21日)を1クールとして繰り返す。

<所要時間> 約1時間

<備考>

● 投与開始基準

ECOG PS:0~2 ヘモグロビン:9.0g/dL以上 好中球:2000/mm³以上
血小板:10万/mm³以上 血清アルブミン:2.5g/dL以上、SpO₂:92%以上
血清クレアチニン:1.2mg/dL クレアチニンクリアランス:45mL/min以上
AST・ALT:施設基準値の2.5倍以下 総ビリルビン:施設基準値の1.5倍以下

● 減量基準

→ 500mg/m²から400mg/m²に減量、さらに毒性あれば中止

[血液毒性]

Grade4の白血球減少または好中球減少

25000/mm³未満の血小板減少、もしくは血小板輸血を実施、38℃以上の発熱を伴う

Grade3以上の好中球減少

[非血液毒性] → Grade3以上(ただし、悪心・嘔吐、AST・ALT、疲労、食欲不振は主治医が安全性に問題ないと判断すれば、減量不要)

● 次コース開始基準

ECOG PS:0~2 ヘモグロビン:9.0g/dL以上 好中球:2000/mm³以上
血小板:10万/mm³以上 血清クレアチニン:1.2mg/dL

AST・ALT:施設基準値の2.5倍以下 総ビリルビン:施設基準値の1.5倍以下

非血液毒性:Grade2以下。(ただし、悪心嘔吐、疲労・食欲不振は主治医が安全性に問題ないと判断すれば継続可)